

福祉サービス利用援助事業 あんしんサポートねっと

生活していく上で、一人で判断することに不安をお持ちの高齢者や知的障害・精神障害などのあるかたを対象に、日常生活に必要なお手伝いをします。

※この事業は、**有料のサービス**となります。

お手伝いできること

- 自宅に届いた郵便物や大切な申請書等を一緒に確認し、必要な手続きの支援をします。
 - 生活費の使いかたについての相談やお金の出し入れのお手伝いをします。
 - 大切な書類を管理するのに不安な場合には、お預かりするサービスもあります。
- ※お預かりした書類などは、金融機関の貸金庫で保管します。
※書画、骨董品、貴金属、株券、現金などはお預かりできません。



利用したいとき

- まずは、社会福祉協議会にご相談ください。不安に思うことのお話をお聞きます。
- 社会福祉協議会の職員が訪問し、困りごとの内容や生活状況などを詳しくお伺いします。
- お話の内容によっては、他の制度や関係機関を紹介します。
- 一緒にお手伝いする内容を考え、支援計画を作成して、契約を結んでお手伝いが始まります。



こども服を集めています

ご家庭に、行き場のないこども服はありませんか。社会福祉協議会では、着られなくなったこども服を集め、支援を必要としているかたや近隣の児童養護施設にお渡しします。

【集めているこども服】

乳幼児から高校生までが着られる服

- ※明らかに大人が着るデザインの服や、痛んでいたリシミなどの汚れがある服については受け付けません。
- ※段ボール1箱程度になる場合は事前にお知らせください。



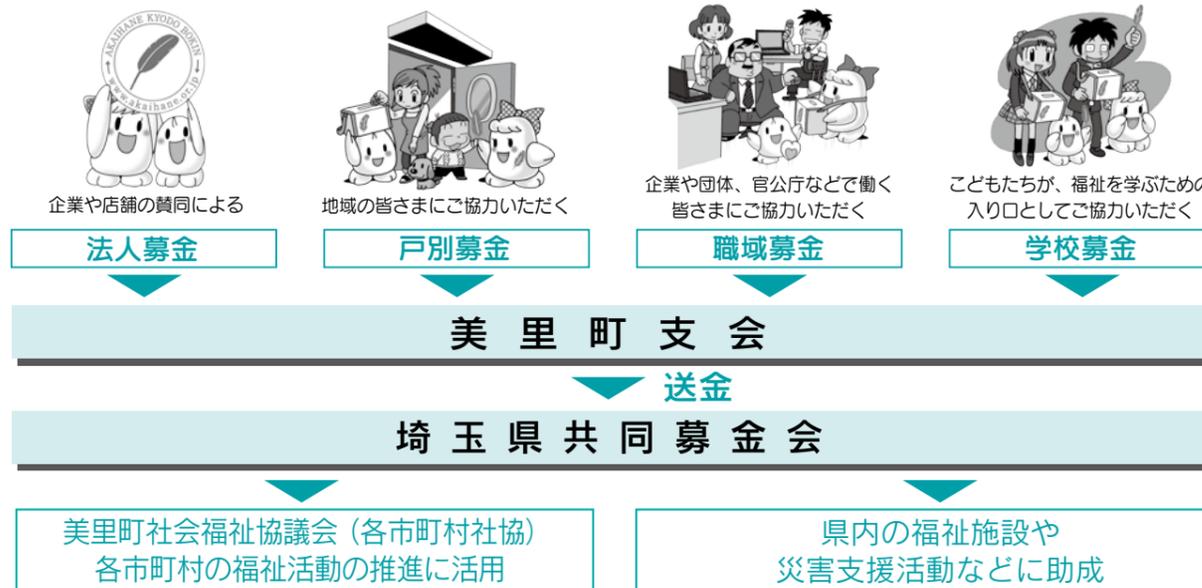
【こども服を必要としている皆さまへ】

- ご希望のかたは、社会福祉協議会までご連絡ください。
- ※必要な服のサイズなどをお伺いします。

10月1日から 赤い羽根共同募金運動が始まります



今年も赤い羽根共同募金運動が10月1日から全国一斉に始まります。美里町社会福祉協議会には埼玉県共同募金会美里町支会が設置されていて、共同募金事業も推進しています。皆さまのご協力によって集められた募金は、埼玉県内および美里町内の福祉活動の推進や災害時支援に活用されます。



福祉体験学習授業

6月23日、松久小学校4年生36名を対象に福祉体験学習を行いました。3名1組に分かれて、「車いす体験」と「高齢者疑似体験」をしました。

「車いす体験」では、マット上やS字のコースなどを走行、段差の昇降も体験しました。車いすに乗っている人にとって、段差の通行は不便で大変です。みんなで協力し合って、乗り越えました。

「高齢者疑似体験」では、白くにごって見える特殊メガネや関節を固定するサポーターと重りを付けて、身体の動かしにくさを体験しました。

イスからの立ち上がりや平均台を歩くなど、普段は簡単にできていることがいかに大変なのかを学びました。

今回の体験で、相手の気持ちを理解し、お互いに思いやることの大切さを考えることができたと思います。思いやりの芽がたくさん育つことを願っています。



車いす体験の様子



高齢者疑似体験の様子

◆◆◆◆◆ 福祉教育支援ボランティアを募集 ◆◆◆◆◆

福祉体験学習授業等(車いす体験、高齢者疑似体験)をお手伝いしていただくボランティアを募集しています。

子どもに関わるのが好きなかた、福祉教育に興味のあるかた、ボランティアとして活動してみませんか? 社会福祉協議会までご連絡ください。

